



世界はこれでいいとは思わないが  
ともかくハッピークリスマス  
ジョン・レノン

## - 第7回定期大会報告 -

11月30日(木)17時30分より、第7回定期大会を組合事務室において開催いたしました。

今年度も書面の議決とし、書面議決書をご提出いただきました。その結果について、以下の通りご報告いたします。

### 1. 大会の成立

代議員総数10名中9名から書面議決書の提出があり、本大会は成立しました。

### 2. 議事

第1号議案 2023年度運動方針(案)

賛成 9 反対 0

第2号議案 規程改正(案)

賛成 9 反対 0

第3号議案 2023年度一般会計予算(案)

賛成 9 反対 0

第4号議案 2023年度組合基金会計予算(案)

賛成 9 反対 0

すべての議案が、全会一致で可決されました。代議員の皆さま、お忙しい中ご協力いただきありがとうございました。

大会へメッセージを寄せていただいた団体を、裏面でご紹介しております。

「看護職員の育児短時間勤務制度改善についての要求書」に対する回答

新潟大学医歯学総合病院  
看護部長 白砂由美子

2023年10月2日付け新潟大学旭町諸君組合からの「看護職員の育児短時間制度改善についての要求書」について、以下のとおり回答いたします。

現在、育児短時間勤務者は勤務形態を考慮し、1名未満とした人員配置を行っております。育児短時間を取得している看護職員は120名程であり、看護職員全体の約13%に該当いたします。産休、育休中の看護職員を含めると、約20%となります。また、男性看護師の育児休暇も推進しており、今年度4名が取得しています。育児短時間を取得している看護職員の90%は看護部クリニカルリーダーⅢ以上であり、高い実践力を有し部署でのリーダー的役割を担える人材です。子育て看護師が、役割を発揮していただいていることは看護の質向上につながり、大変貴重な存在となっております。

看護部では、令和2年度より、育児と仕事を両立したキャリアパスについて検討が開始され、子育て看護師が産後もキャリアを継続し当院で働き続けられるような取り組みを行っております。限られた人員の中で、子育て看護師とフルタイムの看護師双方にとって働きやすい環境となるよう、部署内での補完体制の整備や、やりがいにつながる働き方について検討を重ね、看護部全体で取り組んでおります。子育て看護師のアンケートでは、部署の補完体制があると87%が回答しております。しかし、さらなる業務の効率化、応援体制の整備、多職種へのタスクシフトなど多くの課題があることも認識しております。

今年度は、Covid-19に加えインフルエンザなどの罹患および濃厚接触者対応による病休者が増加しています。子育て看護師、フルタイム看護師それぞれの勤務時間、労働環境が遵守できるよう、補完体制の強化をさらに取り組んでいきたいと考えております。やむを得ない場合も、その理由を明確に伝え、双方の合意のもとに行うこと、言動についても看護師長会を通じて再度周知してまいります。

医療の高度化、患者の高齢化、業務の煩雑化等、医療現場の業務は増えています。ご意見を踏まえ、すべての看護職員が安全で安心な医療・看護が提供できるよう、また看護職員それぞれの働きやすい環境作りを目指し、職員の理解を得ながら継続的に業務改善に取り組んで参りたいと思います。

令和5年10月31日

前号に掲載した、看護部長の回答書が読みづらかったため再掲します。お寄せください。



## メッセージ

第7回定期大会おめでとうございます。

貴組合の運動方針にあるように組合の力は組織率にあります。

多くの新入職員が加入したことは皆さんの日頃の闘いの成果でありうれしく思います。

みなさんのように人勧表を使っている人たちはいっぱいいます  
が、人勧は職務職階制の給与表であり事務員中心の給与です。因みに新潟県職員の平均年収は700万円を超えています。事務は多くの役職ポストがあるため昇格が頻繁にあります。コメディカル・看護師はポストが少ないために給与が上がらないのです。

昇格を理解し運動することが改善の一步と思います。

互いに力を合わせ頑張ってください。

2023年11月30日

新潟県医療労働組合連合会

執行委員長 塩谷 義夫

新潟大学旭町職員組合

執行委員長 伊藤 健二 様

## お祝いのメッセージ

新潟大学旭町職員組合第7回定期大会のご開催を祝し、心よりお慶び申し上げます。

日頃より当金庫事業にご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、<ろうきん>の推進運動にご尽力を頂いております事に対しまして、重ねて御礼申し上げます。

さて、昨今の物価上昇により、私たち勤労者を取り巻く生活環境は厳しさを増すばかりです。こうした環境下において、私ども<ろうきん>は福祉金融機関としての社会的役割を発揮すべく、会員の皆様と連携して「生活応援運動」に取り組んでいます。

具体的には住宅ローンをはじめとした各種ローンを低利な<ろうきん>ローンに借り換えていただくことで返済額を軽減するご提案や、誰もが不安に感じている将来の生活に向けての資産形成のご提案など、組合員様個々の生活実態に合わせたオーダーメイド型のご提案により、日々の生活改善につなげていただけるよう取り組んでいるところです。

今後も、私ども<ろうきん>からは、暮らしに役立つ様々な情報を提供していくとともに、組合員の皆様からも多くのご意見を頂戴するなどして、皆様とのコミュニケーションを大切に、組合員の皆様にとって一番身近な金融機関となれるよう、全力を尽くしてまいります。

結びに、本定期大会が皆様方の活発な論議により実り多き大会になりますよう、また、貴職組の益々のご発展と皆様方のご健勝をご祈念申し上げ、お祝いのメッセージとさせていただきます。

2023年11月30日

新潟県労働金庫

本店営業部長 高橋 理

